

ABC

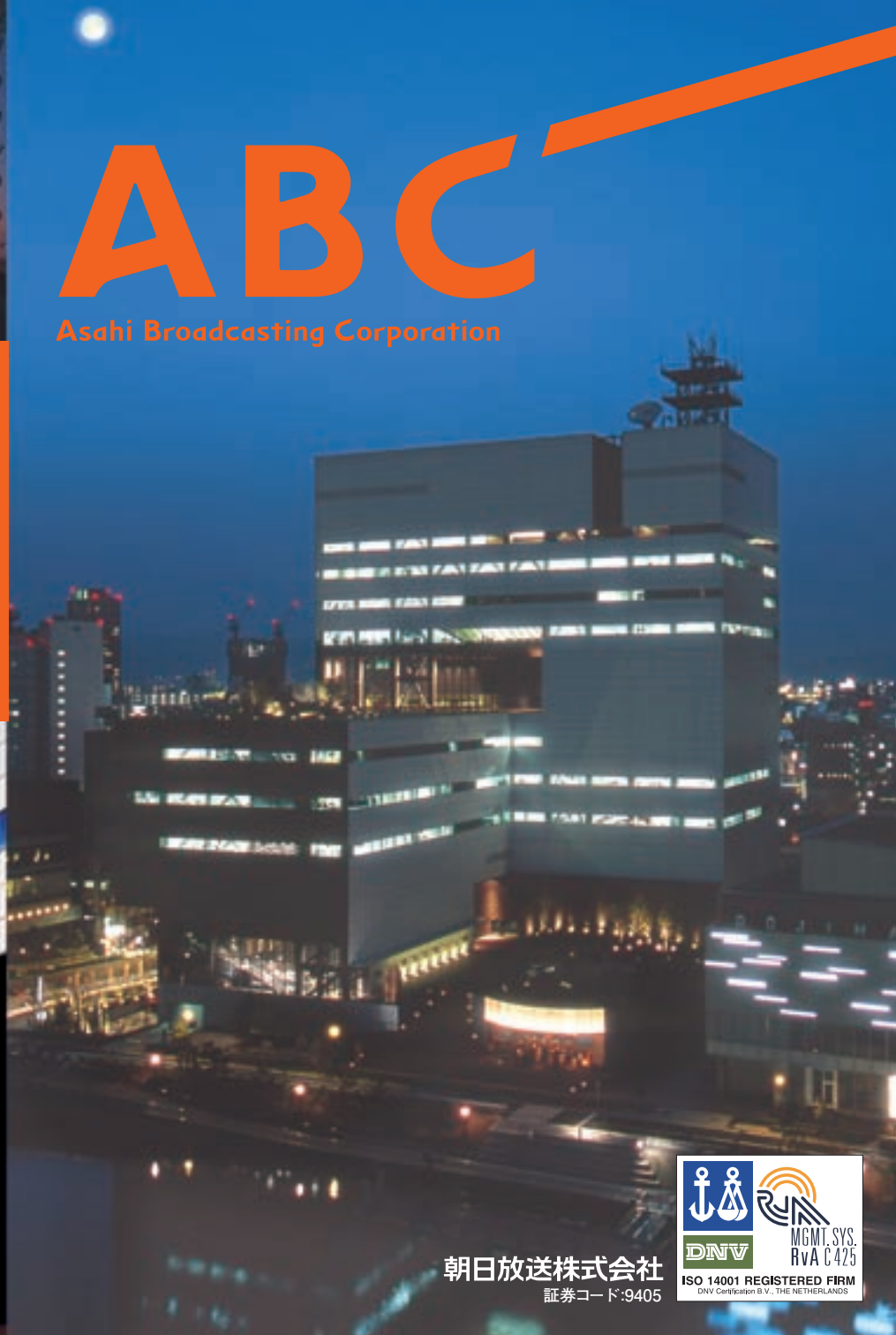
Asahi Broadcasting Corporation

第82期 事業のご報告

平成20年4月1日～平成21年3月31日

INDEX

◆ ごあいさつ	1
◆ テレビ	3
◆ ラジオ	5
◆ その他事業	6
◆ 連結財務諸表	8
◆ 個別財務諸表	10
◆ 会社データ	11
◆ TVプログラム	12



朝日放送株式会社
証券コード:9405



●ごあいさつ Message from the President



代表取締役社長 渡辺克信

株主の皆様方には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、この度、第82期(平成20年4月1日から平成21年3月31日)
の事業のご報告がまとまりましたので、お届けいたします。

当連結会計年度のわが国経済は、サブプライム住宅ローン問題に端を発した世界的な金融危機の拡大と、欧米を中心とした世界経済の後退により、景気が急速に悪化し厳しい状況が続きました。また、企業収益が極めて大幅に減少した結果、個人消費も弱い動きとなりました。

このような経済環境は当社グループが主力事業を展開する放送業界にも深刻な影響を与え、広告収入が前年度の実績を大幅に下回るなど営業面で非常に厳しい状況が続きました。

こうしたなか、当社は当連結会計年度からCS委託放送事業を営む株式会社スカイ・エーを連結子会社といたしました。株式会社スカイ・エーは、「阪神タイガース」や「東北楽天ゴールデンイーグルス」などのプロ野球完全中継や高校野球、ゴルフ、格闘技など強力なスポーツコンテンツを柱に、料理や当社の人気番組も編成し、順調に業績を伸ばしてまいりました。今後も当社グループとして、番組制作やコンテンツの調達などでシナジー効果を発揮していきたいと考えております。

さて、当連結会計年度は、放送事業におけるテレビ視聴率の「全日、プライム、プライム2」の時間区分で年度首位となり、2年連続で「三冠」を達成いたしました。特に下期では、ゴールデンタイムも含めたすべての時間区分で首位となる「四冠」を獲得しております。さらに、ラジオ聴取率調査でも平成18年以来3年連続で全局首位を堅持しております。多くの視聴者・聴取者の皆様のご支持を賜り、心から感謝しております。また、催物・コンテンツ関連収入では、「必殺仕事人2009」や「M-1グランプリ」など当社の人気番組と連動した商品開発で携帯有料会員数が在阪トップを維持するほか、通販収入も売上増を図り、放送事業全体の売り上げ確保に努力いたしました。

ハウジング事業では、首都圏で住宅展示場を新しく1会場オープンいたしました。景気の悪化に伴う住宅需要の落ち込みで出展メーカー

朝日放送信条

- 一 平和と自由の精神を貫き、地域社会と文化の向上につくす。
- 一 進歩と寛容の理念により、品位と責任を重んじ、社会の信頼にこたえる。
- 一 報道と評論は常に中正な立場に立って、真実を正しく敏速に伝える。
- 一 番組は良識と知性を高めつつ、楽しさとやすらぎを与える。
- 一 広告は誇張を排し、清らかな創意によって産業の発展を期する。

- 正しい報道 Accurate information
- 美しい表現 Beautiful expression
- 楽しい番組 Cheerful programs

の撤退などがありました。東京と大阪で新たにテナントビルを展開しテナント収入では増収となりました。ゴルフ事業では、マイナビABCチャンピオンシップゴルフトーナメントで石川遼選手がプロ転向後ツアー初優勝を収めて話題となったことや、積雪によるコースが少なかったため、来場者数は前年を上回りました。

以上のような事業展開の結果、当社グループの連結の売上高は株式会社スカイ・エーの連結子会社化による増収があったものの、当社の放送事業の減収が大きく802億8千4百万円(前期比3.7%減)となりました。セグメント別では、放送事業の売上高は704億6千1百万円(同4.1%減)、ハウジング事業は88億7千9百万円(同0.6%減)、ゴルフ事業は9億4千4百万円(同0.8%減)となりました。

費用面では、株式会社スカイ・エーを連結子会社に加えたため、売上原価は549億7千万円(同1.3%増)、販売費及び一般管理費については、新社屋への移転に関連する費用の発生がありました。業務改善などによる費用の圧縮を行い業績の改善に努めた結果254億9千4百万円(同1.5%減)となりました。

以上の結果、当社グループの営業損失は1億7千9百万円(同105.6%の減益)、経常損失は1億5千万円(同104.1%の減益)となりました。

また、特別利益として固定資産売却益など6千9百万円を計上し、特別損失としては投資有価証券評価損や本社移転費用など18億9千2百万円を計上した結果、当期純損失は、25億4千

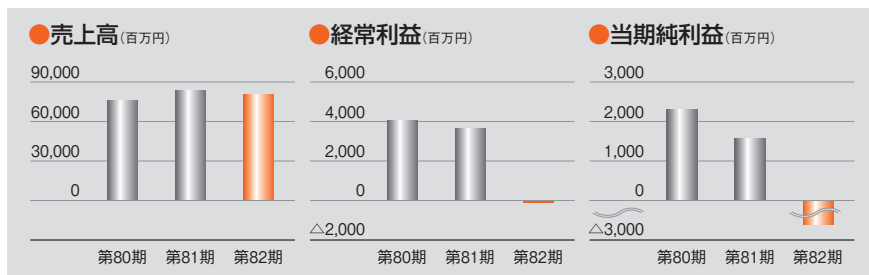
万円(同261.3%の減益)となりました。

当社単独の業績といたしましては、売上高は675億1千7百万円(同7.6%減)となりました。テレビ放送事業収入は584億6千7百万円(同8.3%減)で、景気の悪化によるネットワークセールスの不振や、業界全体に対するスポット出稿量が減少した影響により減収となりました。ラジオ放送事業収入は、34億2千2百万円(同9.4%減)、テレビ・ラジオ放送事業以外の収入は56億2千7百万円(同1.9%増)となりました。

以上の結果、営業損失は11億5千1百万円、経常損失は12億円となり、特別損益等を加減した当期純損失は28億3千9百万円となりました。

当社の新社屋への移転ならびにグループ会社のABCアネックスへの移転という大きな事業を無事完遂できましたのも、皆様のご支援の賜物と感謝いたしております。歴史的な不況という激動の年に、「デジタル時代の創造工場」と位置づけた新社屋とABCアネックスから送り出したコンテンツは、在阪トップの成績を残すことができました。今後もより一層、グループの結束力を強化し、強力な創造集団として、社会の発展に寄与してまいります。また、第83期は、グループ全体の収支の抜本的な構造改革に取り組み、筋肉質で収益性の高い企業グループ構築に注力してまいります。株主の皆様には、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年6月



(連結ベース)

代表取締役社長 渡辺克信



金曜21時ドラマ
「ギラギラ」



「必殺仕事人2009」



「最終警告!たけしの
本当は怖い家庭の医学」

毎週火曜 午後8時



「M-1グランプリ 2008」
グランプリに輝いた
NON STYLE

●全日、プライム帯、プライム2帯で 2年連続の三冠を達成

当期の視聴率は、全日8.9%で4年連続の首位、プライム帯も14.4%で2年連続の首位を獲得しました。また、プライム2帯も9.8%で7年連続首位を堅持した結果、当期も前期に続き、全日、プライム帯、プライム2帯における三冠を達成しました。このほか、ゴールデン帯も13.3%で2位を確保し、各時間帯とも視聴者の皆様から安定した支持をいただきました。

ネット番組では、テレビ朝日と共同制作の金曜21時ドラマ枠は3年目を迎え、10月クールで放送した「ギラギラ」が、最高視聴率16.6%、平均視聴率15.0%を記録するヒット作となりました。また、1月から放送を開始した「必殺仕事人2009」も1月クールの平均が17.9%と高視聴率を記録しました。火曜20時の「最終警告!たけしの本当は怖い家庭の医学」は番組スタートから当期で5年目となり、当期の平均視聴率は11.9%となりました。このほか、平日夜のベルト番組「報道ステーション」は当期も好調で、平均して17.4%と高い視聴率を獲得しました。また、単発番組では、年末の恒例番組となった漫才日本一を決める「M-1グランプリ」が、平成13年の放送開始以来、歴代最高の35.0%の高視聴率を記録し、大きな話題となりました。

ローカル番組では、朝帯・深夜帯を中心にベルト番組が好調で、視聴者の皆様から非常に安定した支持を得ました。ベルト番組の当期の平均視聴率は、朝帯の「おはようコールABC」の6時からの第2部が6.3%と、平成7年10月の番組開始以来、自己ベストを記録し、「おはよう朝日です」も12.2%と自己2位の高視聴率を収めました。深夜帯の「ナイトinナイト」(月

～木)は11.4%、そして金曜深夜の「探偵!ナイトスクープ」は19.8%と好調で、4年連続の全日視聴率首位獲得に大きく貢献しています。

スポーツ番組では、3月の「ワールドベースボールクラシック・東京ラウンド・日本×韓国」が視聴率40.1%を記録し、当期の関西地区視聴率ベスト2にランクインしました。また、浅田真央選手などが活躍した「フィギュアスケートグランプリシリーズ」は、ゴールデン帯での放送の平均視聴率が17.6%となるなど、大型スポーツ番組が好調に推移しました。このほか、高い人気を維持している阪神タイガース主催のナイター中継は15試合放送し、平均視聴率は15.7%と高い水準で推移しました。

全社を挙げて積極的に取り組んでいる地球環境問題をテーマにした年1回の特別番組「ガラスの地球を救えスペシャル」が当期で6年目となりました。今回は、環境再生に情熱的に取り組む人々を紹介するとともに、身近に迫る環境の危機と再生について考えました。また、平成19年に立ち上げた、いじめ、虐待など、こどもを巡る問題に正面から向き合い、こどもの未来について考えるキャンペーン「ABCこども未来プロジェクト」関連では、7月から8月にミニベルト番組を、9月から11月に3つの特別番組を放送しました。

またコンクール関連では当期の日本民間放送連盟賞において、技術部門で「マイナビABCチャンピオンシップゴルフトーナメントにおけるショットメイクCG」が優秀賞を受けました。

※視聴率は関西地区、ビデオリサーチ調べ



毎週月～金曜 あさ6時45分



毎週金曜 午後11時17分



ガラスの地球を救えスペシャル
環境特番「見つめよう!今そこにある危機。そして再生へ」



「ABCこども未来プロジェクト」
みんなの夢かなえます

おはよう
パーソナリティ
道上洋三です



毎週月～金曜 あさ6時30分



毎週月～金曜 午前9時



元気
イババ!
声沢城です



毎週月～金曜 午後3時30分



おはようパーソナリティ
道上洋三です
アシスタント10周年記念
「らら クッキング」

定価1,600円
全国各書店にて発売中

ABC radio

1008 kHz

●3年連続で関西地区ラジオ聴取率年間首位

当期の聴取率は、年間4回すべての調査で、FM局も含めた関西12社のなかで首位となり、3年連続で年間首位を堅持しました。

12月の調査においては、全放送時間帯の週平均シェアが22.8%と2位以下を大きく引き離しており、特にラジオのゴールデンタイムである平日6時から18時の平均シェアは24.9%と圧倒的な強さを見せました。同調査の番組別ランキングでは、聴取率1位を堅守した「おはようパーソナリティ道上洋三です」をはじめ、ABCラジオの人気番組がベスト10内で5番組を占めるなど聴取者の皆様から大きな支持を受けました。このほか、阪神タイガース戦の試合の聴取率が競合する他局を常に上回っているほか、ラジオドラマの制作や信頼度の高いニュース報道など、総合編成を行うラジオ局としての充実度は他局を圧倒しました。

新社屋への移転記念イベントとして、リスナーの皆様をABCホールに招待し、5つの人気生ワイド番組を公開放送しました。このほか、「五日連続日曜落語～なみはや亭～特別興行」もABCホールで開催しました。

放送に関連した事業にも積極的に取り組んでいます。「おはようパーソナリティ道上洋三です」のアシスタント秋吉英美が、番組出演10周年を記念して料理ブックを出版しました。10月から全国で発売し、料理本としては驚異的な5万部に届く売れ行きとなりました。

このほかコンクール関連では当期の日本民間放送連盟賞において、番組部門ラジオ報道番組で「動かない救急車～救急医療崩壊の現場」が、番組部門ラジオエンターテインメント番組で「なんでこんなに巧いんやろ!～暁照夫60年・わたしの舞台は道頓堀」がそれぞれ優秀賞を受賞しました。

●イベント事業

事業イベントでは、新社屋移転を記念して、ABCホールで、5月から6月にかけて「中之島演劇祭2008」を開催しました。7月には「ショートフィルムフェスティバル」と題して、5人の映画監督に「こども」をテーマに制作を依頼したオムニバス映画「ザ・ショートフィルムズ」を上映しました。ABCホールは、その後も演劇、映画、音楽などの催物で賑わっております。8月には恒例のロックフェスティバル「SUMMER SONIC 08」を舞洲で開催し、約7万人のファンを集めました。演劇では、蜷川幸雄演出の「から騒ぎ」や、往年の人気映画の舞台化「黒部の太陽」を上演。また、ブロードウェイミュージカル「Swing!」も大好評を博しました。スポーツイベントでは、男子ゴルフトーナメント「マイナビABCチャンピオンシップゴルフトーナメント」を秋に開催。石川遼選手のプロ転向後ツアー初優勝で盛り上がりました。クラシック音楽関係では、ヨーヨー・マのコンサートやキエフオペラ、レニングラード国立バレエをはじめ、当期も質の高い公演を数多く主催しました。



「ショートフィルムフェスティバル」



「黒部の太陽」



「マイナビABCチャンピオンシップゴルフトーナメント」



キエフオペラ「トゥーランドット」



毎週月～木曜 午前10時53分

「評判! なかむら屋」

●情報通販事業

3年目に入ったショッピング番組「評判!なかむら屋」は、当期も順調に売上げを伸ばしました。また、当期は新たにレギュラーの番組として「ナンシーさん～グズズ一家の快適生活～」をベルト編成し、さらに売上げを伸ばすことができました。このほか、レギュラーの放送枠だけでなく、情報番組としても楽しめるショッピング番組「北欧デンマークを訪ねて～究極の眠りを探す旅～」など2本の単発番組を新規に企画し、成功を収めました。

●デジタル事業

携帯サイトは、番組との連携強化により有料会員数を12%増やし、「M-1グランプリ」の動画配信で話題を呼びました。ホームページ関連では、夏の高校野球のライブ中継に続き、「ABC動画倶楽部」を立上げ、自社のプラットフォームによるVOD（ビデオ・オン・デマンド）配信を開始しました。このVOD配信では、アニメ「プリキュア」シリーズのほかに、ABCの人気懸賞ミステリー「安楽椅子探偵」シリーズを配信し、好評を得ました。

●ライツ事業

番組の二次利用関連では、アニメ「プリキュア」シリーズの商品化が引き続き好調で、パチンコ台「必殺仕事人Ⅲ・桜バージョン」のヒットもあって順調に推移しました。「金曜21時ドラマ」のDVD化や「家庭の医学」等の海外番販のほか、「石川遼ツアー初優勝の軌跡」、「探偵!ナイトスクープ」、「熱闘甲子園」、「M-1グランプリ」などのDVDセールスも好成績を収めました。



「ギラギラ」「ロト6で3億2千万円当てた男」
「パズル」「4姉妹探偵団」



「探偵!ナイトスクープ」「石川遼ツアー初優勝の軌跡」
「M-1グランプリ 2008」

● 連結財務諸表 Consolidated Financial Statements

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当 期 平成21年3月31日現在	前 期 平成20年3月31日現在	科目	当 期 平成21年3月31日現在	前 期 平成20年3月31日現在
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	29,121	33,939	流動負債	13,493	16,098
現金及び預金	7,329	7,064	短期借入金	700	700
受取手形及び売掛金	11,496	13,398	1年内返済予定の長期借入金	3,190	320
有価証券	5,493	10,098	リース債務	841	—
たな卸資産	1,111	915	未払金	6,276	9,013
短期貸付金	19	20	未払費用	1,150	1,613
繰延税金資産	497	745	未払法人税等	104	989
その他の流動資産	3,181	1,702	役員賞与引当金	13	46
貸倒引当金	△ 9	△ 6	本社移転損失引当金	—	722
固定資産	66,843	64,377	廃棄物処理損失引当金	—	12
有形固定資産	49,113	45,089	設備等支払手形	115	1,506
建物及び構築物	24,951	8,172	その他の流動負債	1,102	1,173
機械装置及び運搬具	5,549	4,046	固定負債	29,319	26,363
工具器具及び備品	814	279	長期借入金	2,060	5,250
土地	10,644	10,527	リース債務	6,523	—
リース資産	6,935	—	退職給付引当金	10,801	10,818
建設仮勘定	218	22,063	廃棄物処理損失引当金	57	45
無形固定資産	1,779	1,004	負ののれん	516	675
のれん	133	—	預り保証金	8,763	8,945
ソフトウェア	1,549	946	その他の固定負債	596	628
その他の無形固定資産	96	58	負債合計	42,812	42,462
投資その他の資産	15,950	18,283	(純資産の部)		
投資有価証券	7,156	8,975	株主資本	49,891	52,784
長期貸付金	49	759	資本金	5,299	5,299
長期前払費用	1,736	1,585	資本剰余金	3,610	3,610
繰延税金資産	5,389	5,244	利益剰余金	40,981	43,875
その他の投資	1,642	1,762	自己株式	△ 0	△ 0
貸倒引当金	△ 24	△ 43	評価・換算差額等	544	607
資産合計	95,965	98,316	その他有価証券評価差額金	544	607
			少数株主持分	2,717	2,462
			純資産合計	53,152	55,854
			負債・純資産合計	95,965	98,316

(注)金額は、百万円未満を切捨表示しております。

● 連結財務諸表 Consolidated Financial Statements

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで	平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで
売上高	80,284	83,352
売上原価	54,970	54,244
売上総利益	25,314	29,107
販売費及び一般管理費	25,494	25,880
営業利益又は営業損失(△)	△ 179	3,227
営業外収益	460	602
営業外費用	431	162
経常利益又は経常損失(△)	△ 150	3,666
特別利益	69	78
特別損失	1,892	413
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	△ 1,974	3,332
法人税、住民税及び事業税	401	1,333
過年度法人税等還付税額	△ 203	—
法人税等調整額	179	222
少数株主利益	189	200
当期純利益又は当期純損失(△)	△ 2,540	1,574

(注)金額は、百万円未満を切捨表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで	平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,229	6,453
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,574	△ 2,062
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,597	△ 758
現金及び現金同等物の増減額	△ 4,942	3,631
現金及び現金同等物の期首残高	15,554	11,922
非連結子会社との合併に伴う 現金及び現金同等物の増加額	107	—
現金及び現金同等物の期末残高	10,718	15,554

(注)金額は、百万円未満を切捨表示しております。

連結株主資本等変動計算書

当期(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等		少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
平成20年3月31日残高	5,299	3,610	43,875	△ 0	52,784	607	607	2,462	55,854
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△ 418		△ 418				△ 418
連結範囲の変動			11		11				11
合併による増加			53		53				53
当期純損失(△)			△ 2,540		△ 2,540				△ 2,540
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)						△ 63	△ 63	255	191
連結会計年度中の変動額合計	—	—	△ 2,893	—	△ 2,893	△ 63	△ 63	255	△ 2,701
平成21年3月31日残高	5,299	3,610	40,981	△ 0	49,891	544	544	2,717	53,152

(注)金額は、百万円未満を切捨表示しております。

● 個別財務諸表 Non-Consolidated Financial Statements

貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当 期	前 期
	平成21年3月31日現在	平成20年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	24,890	29,963
固定資産	55,077	52,229
有形固定資産	37,972	34,119
無形固定資産	1,612	973
投資その他の資産	15,493	17,136
資産合計	79,968	82,192
(負債の部)		
流動負債	11,831	14,164
固定負債	19,418	15,984
負債合計	31,249	30,148
(純資産の部)		
株主資本	48,170	51,428
資本金	5,299	5,299
資本剰余金	3,610	3,610
利益剰余金	39,260	42,519
自己株式	△ 0	△ 0
評価・換算差額等	548	615
その他有価証券評価差額金	548	615
純資産合計	48,718	52,044
負債・純資産合計	79,968	82,192

(注)金額は、百万円未満を切捨表示しております。

損益計算書

(単位:百万円)

科目	当 期	前 期
	平成20年4月1日から平成21年3月31日まで	平成19年4月1日から平成20年3月31日まで
売上高	67,517	73,032
売上原価	45,647	46,314
売上総利益	21,869	26,717
販売費及び一般管理費	23,020	24,865
営業利益又は営業損失(△)	△ 1,151	1,852
営業外収益	287	362
営業外費用	336	108
経常利益は経常損失(△)	△ 1,200	2,106
特別利益	81	128
特別損失	1,763	269
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	△ 2,882	1,965
法人税、住民税及び事業税	12	831
過年度法人税等還付税額	△ 203	—
法人税等調整額	148	235
当期純利益又は当期純損失(△)	△ 2,839	898

(注)金額は、百万円未満を切捨表示しております。

株主資本等変動計算書

当 期(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

(単位:百万円)

	株主資本										評価・換算差額等			純資産合計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	利益剰余金	自 己 株 式	株 主 本 計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等	純資産合計				
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計								固定資産圧縮積立金	別途繰越利益剰余金		利益剰余金合計
平成20年3月31日残高	5,299	3,515	95	3,610	450	105	39,400	2,564	42,519	△	0	51,428	615	615	52,044
事業年度中の変動額															
剰余金の配当								△ 418	△ 418			△ 418			△ 418
当期純損失(△)								△ 2,839	△ 2,839			△ 2,839			△ 2,839
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)													△ 66	△ 66	△ 66
事業年度中の変動額合計	—	—	—	—	—	—	—	△ 3,258	△ 3,258	—	△ 3,258	△ 66	△ 66	△ 3,325	
平成21年3月31日残高	5,299	3,515	95	3,610	450	105	39,400	△ 694	39,260	△	0	48,170	548	548	48,718

(注)金額は、百万円未満を切捨表示しております。

● 会社データ Corporate Data

会社の概況 (平成21年3月31日現在)

会社名	朝日放送株式会社 Asahi Broadcasting Corporation
創立	昭和26年3月15日
資本金	52億9,980万円
従業員数	645名
事業内容	放送法および有線放送法による 一般放送事業 他
本社	〒553-8503 大阪市福島区福島一丁目1番30号 Tel.(06)6458-5321(代表)

役員 (平成21年6月25日現在)

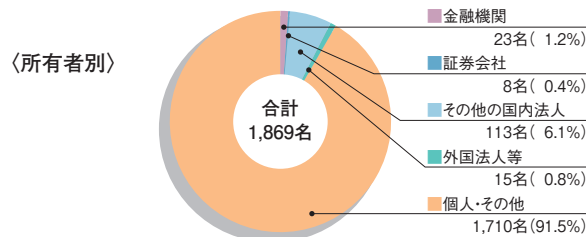
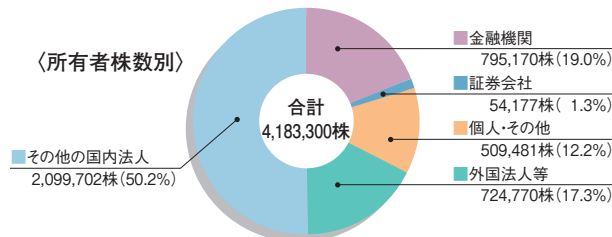
代表取締役社長	渡辺 克信	取締役	古川 賢三
代表取締役専務取締役	北畠 宏泰	取締役	福田 正史
常務取締役	和田 省一	取締役	田仲 拓二
常務取締役	脇阪 聰史	取締役	川村 恒雄
常務取締役	水野 文英	常勤監査役	村井 守
取締役	領木 新一郎	常勤監査役	木下 栄一
取締役	脇 英太郎	監査役	白賀 洋平
取締役	池内 文雄	監査役	黒石 鞆
取締役	山口 昌紀	監査役	橋本 宗利
取締役	坂井 信也		
取締役	早河 洋		

株式の概況 (平成21年3月31日現在)

●発行可能株式総数	14,400,000株
●発行済株式総数	4,183,300株
●株主数	1,869名
●大株主	

株主名	所有株式数	議決権比率
株式会社朝日新聞社	622,490 株	14.9 %
MORGAN STANLEY & CO. INC	463,540	11.1
株式会社テレビ朝日	387,760	9.3
学校法人帝京大学	155,400	3.7
朝日新聞信用組合	150,000	3.6
村山 美知子	145,500	3.5
日本生命保険相互会社	125,650	3.0
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	101,200	2.4
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	92,900	2.2
大阪瓦斯株式会社	85,500	2.0

●株式分布状況



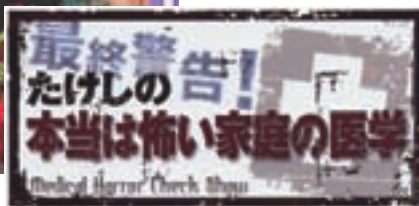
●TVプログラム TV program



最終警告!たけしの本当は怖い家庭の医学

毎週火曜 午後8時～8時54分放送

「放っておくと大変な事になりますよ…!」と、院長のビートたけしが病の早期発見を警告するメディカル・エンターテインメント番組。忙しい現代人が見過ごしやすい、ささいな症状が、やがて深刻な病気になっていく過程をわかりやすく説明します。専門の医師が登場し、病の対処に本格的に取り組む一方、たけし院長と芸能人のゲスト患者のかけあいなどバラエティーの要素も盛り込み、親しみやすい内容になっています。



大改造!! 劇的ビフォーアフターSEASON II

毎週日曜 午後7時58分～8時54分放送

様々な問題を抱えた家がリフォームで大変身する様が反響を呼び、2003年の新語・流行語大賞のトップテンに「ビフォーアフター」が選ばれるなど、社会現象まで巻き起こした番組が、この春から3年ぶりにレギュラー番組として復活しました。家を大改造するのは一流の建築士である「匠」たち。リフォームを通して、家族の絆や安らぎを取り戻す“心の大改造”にまで匠が挑む、家族応援バラエティーです。



●TVプログラム TV program



おはよう朝日です

毎週月曜～金曜 午前6時45分～8時放送

“朝の元気”をお届けする情報ワイド番組として1979年にスタートし、今では“関西の朝の顔”的存在になりました。民放各局がネット番組を放送する時間帯において、唯一、関西発の自社制作番組を放送。ニュースやスポーツ、最新のトレンドまで地域を意識した情報を発信し、視聴者の皆様から高い支持を得ています。番組キャラクターの「朝おき太」「朝めざめ」は老若男女に親しまれる人気者です。



探偵!ナイトスクープ

毎週金曜 午後11時17分～深夜0時12分放送

視聴者の皆様から寄せられた依頼を、西田敏行探偵局長の指令のもと、優秀な探偵たちが依頼者とともに調査し解決する視聴者参加型バラエティー。深夜の放送にもかかわらず、関西での視聴率は毎回20パーセント前後を保持し、圧倒的な支持を得ています。番組の主役は依頼を寄せた一般の視聴者。探偵と依頼者の奮闘は時として新たな発見や感動を呼び、今もお名作VTRを次々と生み出しています。





新婚さんいらっしゃい!

毎週日曜 午後0時55分～1時25分放送

1971年のスタート以来、新婚さんの明るく楽しいトークをお届けする爆笑バラエティー。番組開始当時から続く司会の桂三枝と7代目アシスタントの山瀬まみが、新婚カップルのあつあつぶりや微笑ましいエピソードを絶妙なトークで引き出します。明るい笑いとお心温まる番組内容が長年の人気を支えています。登場する新婚さん、公開録画の観覧者ともに一般公募であり、徹底した視聴者参加型の番組として、皆様から好評を得ています。

新婚さん
いらっしゃい!

パネルクイズ アタック25

毎週日曜 午後1時25分～1時55分放送

34年の長寿を誇る視聴者参加型の正統派クイズ番組。4人の解答者がクイズに答え、25枚のパネルを取り合うユニークなスタイルに特徴があり、解答者の優劣が瞬時に入れ代わるスリリングなゲーム展開がみどころになっています。第1回の放送から司会を務める児玉清のソフトで誠実な司会ぶりも、番組が長年愛されている大きな魅力のひとつです。



パネルクイズ
アタック
25

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月中

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日

**株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関** 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

**株主名簿管理人
事務取扱場所** 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒183-8701
東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 0120-176-417

(ホームページURL) <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

公告の方法 当社のホームページに掲載する。
(<http://asahi.co.jp>)

当社のホームページもご覧ください。

<http://asahi.co.jp>



朝日放送株式会社

〒553-8503 大阪市福島区福島一丁目1番30号
TEL 06-6458-5321 (代表)



この事業のご報告は、環境に配慮し、
大豆インキを使用しております。

